

令和 6 年度(2024 年度)高校講座実施報告
(10 月分)

●福島県 県立会津高等学校(令和6年10月8日)

講演テーマ: 外国での勤務について

講 師：総合外交政策局 国際機関人事センター 相馬安行 室長



●東京都 私立東京女学館中学校・高等学校(令和6年10月9日)

講演テーマ: 外交という仕事とは

講 師：大臣官房 総務課 清水真央 主査



●佐賀県 県立三養基高等学校(令和6年10月11日)

講演テーマ: 外務省の仕事—共に生きる社会を知・徳・体で築いていこう—

講師: 大臣官房 考査・政策評価室 田代久美 課長補佐



●茨城県 県立日立第一高等学校(令和6年10月16日)

講演テーマ: 世界の見取り図を描こう

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 北島みづき 主査



●神奈川県 県立横浜平沼高等学校(令和6年10月17日)

講演テーマ: 高校生もわかる 外務省(大使館)の仕事

講師: 経済局 経済連携課 御澤真一郎 課長補佐



●福島県 県立福島南高等学校(令和6年10月17日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際法局 経済紛争処理課 澤田聡子 主査



●岩手県 県立金ヶ崎高等学校(令和6年10月22日)

講演テーマ: 外交官という仕事

講師: 大臣官房 報道課 武田善憲 課長



●徳島県 県立名西高等学校(令和6年10月22日)

講演テーマ: 外務省・外交について

講師: 国際法局 経済紛争処理課 北村健一 課長補佐



●岩手県 県立大東高等学校(令和6年10月23日)

講演テーマ: 外交官という仕事

講師: 大臣官房 報道課 武田善憲 課長



●徳島県 県立鳴門渦潮高等学校(令和6年10月23日)

講演テーマ: 外務省・外交について

講師: 国際法局 経済紛争処理課 北村健一 課長補佐



●広島県 私立 AICJ 高等学校(令和 6 年 10 月 24 日)

講演テーマ: ヒロシマから世界へ

講師: アジア大洋州局 北東アジア第二課 永奥真治 主査



●岡山県 県立岡山大安寺中等教育学校(令和 6 年 10 月 25 日)

講演テーマ: 大安寺から世界へ

講師: アジア大洋州局 北東アジア第二課 永奥真治 主査



● 栃木県 県立栃木工業高等学校(令和6年10月25日)

講演テーマ: 未来を築く外交官ー外務省とODAの役割ー

講師: 大臣官房 デジタル化推進室 後藤 怜 主査



参加者からの感想(抜粋)

- 実際に海外で勤務した職員から経験談を聞くことができ、貴重な経験になった。語学の必要性を再認識でき、勉強のモチベーションにも繋がった。
- 国際関係の仕事に興味があるので、貴重な話を聞くことができた。卒業生が世界で活躍している姿を見て、私も将来は日本と外国を繋げられるような人になりたいと思った。
- 国益を守るという共通意識を持って多くの国と交渉を行うことは決して簡単ではなく、並々ならぬ努力が必要だと思った。また、日本のよさを伝えるのも仕事のひとつだと聞き驚いた。「当たり前のことを当たり前にする」ことは外交官だけに通じるのではなく、今の私やこれからの私にも通じる、人との信頼関係を築く上で大切にすべきことだと思った。
- 「外交」というと東アジア諸国や日米関係がよく注目されがちだが、エネルギー事情やODA などを含めて考えると中東、東南アジア、アフリカ諸国なども重要であることが分かった。またイスラム文化圏の話も興味深かった。
- 外務省員は文系出身者が多いと思っていたので、理系出身者も多く活躍しているということに驚き、職業選択の幅が広がると思った。
- 「外交」や「紛争」という言葉は知っていたけれど意味は知らなかったもので、講演を通して知ることができて良かった。ニュースでもよく耳にするので、今後は更に興味を持って情報を得ていきたいと思う。
- 女子が勉強をする機会が与えられない国もあると聞いて、今、私たちが勉強をすること

ができるのが、「当たり前」ではないことに気づかされた。私がその人たちにできることを見つけて行動に移したいと思った。

- 国際関係の調整や交渉の重要性とその責任の重さについて学ぶことができた。